

意見の概要および市の考え方

いただいた意見の概要およびそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

No	意見の概要	意見数	市の考え方
1	旧彦根を意識されたところが少し気になります。 現状分析は良くできていると思う。これからが市の腕の見せ所である。 彦根に「コンパクトシティ」実現のためのモデルケースが必要だと思うので、高宮を提案します。 高宮は歴史があり、そして郵便局を入れて4つの金融機関と医療機関にも恵まれています。一方で空き家も発生している状況であり、周辺の人口増加と中心部の高齢化は地域の課題となっています。このことから「コンパクトシティ」にピッタリであると考えます。 また、おとくらプロジェクトの空き家の活用ならびにシェアハウスでの高宮生活など、いろんな条件もそろっています。	1	高宮地域は、中山道沿線を中心に歴史的なまちなみが形成され、現在も生活に必要な施設も揃っていることから生活しやすい地域であると考えております。 一方で、中山道沿線をはじめとする旧来の地域におきましては高齢化や人口減少が進んでおり、本市としましても対策が必要であると考えております。 本計画は、本市全体を対象としてコンパクトシティをどのように進めていくのかというものであり、JR4 駅（彦根駅、南彦根駅、河瀬駅、稲枝駅）を中心としたコンパクトなまちづくりを進めていくこととしております。 ご提案いただいた高宮地域でのコンパクトシティのモデルケースにつきましては、市内全体から見たときの都市機能の集積状況や公共交通、人口の状況等、様々な観点を踏まえると、高宮地域を1つのコンパクトシティのまとまりとして考え、モデルケースとして設定することは難しいと考えております。 今後、本計画において都市機能誘導区域と居住誘導区域を、それぞれの条件に基づいて設定を行ってまいります。高宮地域については、高齢化や人口減少の課題もあることから、居住誘導区域に設定できないか検討していく予定です。 また、空き家・空き地等の利活用などもコンパクトシティを進めていく上では重要な施策であると考えており、ご意見を参考に施策の検討を進めさせていただきます。今後とも本市のまちづくりにご理解ご協力をお願いします。